

本件は、宮古記者クラブに配信しております

情報提供

平成 27 年 10 月 5 日
国立研究開発法人水産総合研究センター
東北区水産研究所

「第 1 回 宮古地域水産シンポジウム」
～宮古・下閉伊の水産研究と復興への課題～をテーマに開催

国立研究開発法人水産総合研究センター東北区水産研究所宮古庁舎は、震災により施設が壊滅しましたが、平成 25 年 12 月に施設を再建するなど新たな組織として研究活動を行ってきました。この度、再建後の当所の研究内容や目的を知っていただく機会を設けるとともに、地元の水産関連団体との意見交換を通じて、宮古地域の水産の展望について考えることを目的に、下記のとおり「宮古・下閉伊の水産研究と復興への課題」をテーマに第 1 回「宮古地域水産シンポジウム」を開催するはこびとなりました。

テーマ 宮古・下閉伊の水産研究と復興への課題
日時 平成 27 年 10 月 23 日（金）14:00－16:30
場所 宮古市シートピアなあと 研修ホール（岩手県宮古市臨港通 1-20）
主催 国立研究開発法人水産総合研究センター東北区水産研究所
なお、入場は無料、事前の参加申込は不要です

本件照会先：

国立研究開発法人水産総合研究センター	東北区水産研究所	
宮古庁舎	八谷 光介	TEL:0193-63-8121
	黒川 忠英	TEL:0193-63-8121
塩釜庁舎	山田 秀秋	TEL:022-365-9924

別紙 開催要領

「第1回 宮古地域水産シンポジウム」
～宮古・下閉伊の水産研究と復興への課題～

日時：平成27年10月23日（金）14:00～16:30

場所：宮古市シートピアなあとど 研修ホール（岩手県宮古市臨港通1-20 電話0193-71-3100）

主催：国立研究開発法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

【次第】

1 開 会（14:00）

2 主催者挨拶

東北区水産研究所 所長 秋山秀樹

3 講 演

① 三陸沿岸における震災後のサケの回帰状況と資源回復に向けた研究

佐々木 系（東北区水産研究所 宮古庁舎）

② 震災後の磯根資源と磯根漁業の振興にむけた藻場調査について

八谷光介（東北区水産研究所 宮古庁舎）

③ アマモ場の回復した宮古湾の魚類生産力を有効活用する

清水 大輔（東北区水産研究所 宮古庁舎）

④ 宮古湾におけるニシンの生態調査 ―資源管理の取り組み―

白藤 徳夫（東北区水産研究所 宮古庁舎）

⑤ 宮古湾におけるアサリ稚貝調査の結果と増殖に向けた取り組み

芳賀 徹（宮古漁業協同組合 指導課長代理）

⑥ 内湾の貝類養殖と漁場環境について 大船渡湾の事例から

神山 孝史（東北区水産研究所 塩釜庁舎）

4 総合討論

座長：東北区水産研究所 沿岸漁業資源研究センター長 黒川 忠英

5 閉 会（16:30）